

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

# 三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

## ■コミュニティだより

VOL. 74 (年4回発行)

■発行日 平成27年1月1日  
 ■発行 三春まちづくり協会  
 ■編集 三春まちづくり協会広報部  
 三春町大字貝山字泉沢100-1 (旧若駒家)  
 TEL/FAX (62) 3988

### 平成二十六年年度「まちづくり懇談会」 テーマ『空き地・空き家・空き店舗対策』

十一月十九日、三春交流館まほらのホワイエで、約七〇名の参加者を得て、平成二十六年年度「まちづくり懇談会」が開催されました。

▽久保副協会長あいさつ

今回は初の試みとして、「空き地・空き家・空き店舗対策」というテーマを設定しての開催となった。皆様と一緒に考えていきたい。

▽橋本副町長あいさつ

三春まちづくり協会の日頃の活動に敬意を表したい。桜川の整備、各施設の整備、除染作業等には皆様のご協力が不可欠なので、今後ともよろしくお願ひしたい。

▽日下部議長あいさつ

「開かれた議会」の一環として、町と共催でこの懇談会に臨んでいる。今日は町議会議員も多数参加している。この懇談会で町民の皆さんの多くの声を聴かせていただきたい。議会の活動については議会報に詳しく載せてあるので、ぜひお読みいただきたい。今後とも協働の精神で住みよいまちづくりを進めていきたい。

### 新年のご挨拶



三春まちづくり協会会長 華田勝寿

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

東日本大震災も、まもなく四年になろうとしております。三春町も震災での除染等の仮置き場もまわり、造成工事が進んでいるようであり、町内を見渡しますと、空き地、空き家がめだつております。まちづくり協会も、町とも話し合い、所有者と適正管理による利活用が出来ればと思っております。

今後とも、まちづくり協会の、指導ご協力をお願ひ申し上げます。年頭にあたり、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。



最初に町役場各課、議会事務局から配布資料についての説明がありました。説明のあった項目は次の通りです。

- 町からの配布資料
- ①町内に整備される復興公営住宅の進捗状況について (総務課)
- ②平成二十六年年度三春町の財政状況について (財務課)
- ③除染の実施状況について (除染対策課)
- ④にじに元気塾の参加者募集について (保健福祉課)
- ⑤平成二十六年産米の全量全袋検査について (産業課)
- ⑥一級河川桜川河川改修事業について (建設課)
- ⑦平沢字栄町地内及び上舞木字戸内地内の宅地造成について (企業局)
- ⑧平成二十七年年度三春町年度就学児童(予定)数 (教育課)
- 議会からの配布資料
- ①三春町議会の今年度の主な活動報告
- 町からのお知らせ
- ①初笑い「まほら」寄席 (生涯学習課)
- ②平成二十六年年度秋季特別展 三春猫騒動 (歴史民俗資料館)

### 三春町の「空き家・空き地・空き店舗対策について」

- ◎町内の空き家の現状  
住宅：二八、非住宅：四八、空き地：二〇九  
行政区分長、組長の協力で行った視察調査をした。
- ◎空き家の課題  
・老朽化、倒壊の危険  
・固定資産税の税率  
◎空き家所有者の特定及び実態調査  
・「空き家等対策の推進に関する特別措置法」成立後、空き家所有者へアンケートを実施
- ◎空き店舗の状況  
・旧町内一三七店舗のうち、空き店舗は十五店舗、内賃貸希望は五件。
- ◎三春町街なか賑わい創出事業について  
・三春まちづくり公社が、情報収集、事業計画の策定、空き店舗のあつせん等を行う。商店街、商工会、三春まちづくり公社、三春町が共同で空き店舗対策に取り組む。

### まちづくり懇談会要望事項に対する回答

- ①八島川の改修について
- ②立木伐採について
- 主な質問と回答
- 「借入金金額は元金と利子を含んでいるのか」  
二十五年度の場合、元金は七億八三九〇万円、利子は億一六〇〇万円。
- 「除雪対策について」  
除雪車を九台(大型三台含む)増やした。これまでより早く除雪ができるものと思ふ。排雪方法についても検討している。
- 「復興公営住宅の整備が進んでいるが、入居者は三春町民となるのか」  
恵下越は葛尾村が管理し、平沢は興営となる。東電との交渉が終わらないうちには住所の移転はできない。
- 主な意見、質問と回答
- 「花かこの移転とその後について」  
中町の蔵(ベニマル向)に移転する。現在の場所には別の入居者がある予定。旧三春中学校、桜中学校
- アンケートを実施し状況把握、意向確認をする。
- ◎校舎、校庭はどのようなのか」  
検討会を立ち上げて議論している。耐震基準を満たしている部分を残して解体し、残った建物は主に子育て支援施設として活用する予定。桜中学校は、ガイナックスというアニメ制作会社が入る予定。校庭は子ども、親子が遊べる緑地公園にしてはどうかという意見が出ている。
- 「三春は店舗と住宅が兼用の形が多いので難しい」  
「新町の橋の工事が長引いているが、町内への観光客等が大幅に減っている。早急に完成できるように県に要望してほしい。」



### 環境部会

#### 通学路放射線量の調査を実施

(環境部会長 長谷川良一)

環境部会では、今年度も前年度に引き続き東京電力福島第一原発事故による町内通学路の放射線量測定を実施し、測定地点の数値の発表を行うことを計画致しました。

放射線量の測定場所(七十地点)及び測定日(八月十五日)及び九月二十日の間は前年と同じく行うことを決め、各地区の部員がそれぞれ地区を測定することといたしました。放射線量測定結果を見ますと、測定場所七十地点のうち前年と同じか下か十二地点が上昇していました。最高値は〇・二五マイクロシーベルトで〇・二三マイクロシーベルトを超えている地点は3地点あり、最小値は〇・〇七マイクロシーベルトで〇・一〇マイクロシーベルト未満のところは4地点ありました。また、測定中に自動車を通り過ぎていくと放射線量の数値が上昇するのが見られました。

※尚、通学路放射線量の各地点の測定値につきましては、「二覧表」と「グラフ」で表し一月に地区隣組を通して同覧によりお知らせいたします。

# 協会活動だより

## 全体事業

### 秋視察研修旅行に想う

(地域部会)

山崎 正

十月二十三日、三春まちづくり協会視察研修旅行が行われ三十一名の参加者で茨城常陸太田方面へ、西山荘、竜神大吊橋、袋田の滝と三か所見学しました。西山荘は水戸家二代藩主水戸光圀公が一六九一年から一七〇〇年亡くなるまでの十年間を隠居所として、後に「大日本史」と命名される、修史編纂事業に情熱を注ぎ一七〇〇年七十三歳で亡くなるまで住んでいたと言われております。



西山荘にて

我々が訪れた時は、茅葺屋根の修復も終わり閑静の中に佇む庵はとも心安らぐ思いが致しました。

ふるさと一創生事業で作られた高さ百メートル、長さ三七五メートルの「竜神大吊橋」は山間の中に一目瞭然と立派な吊橋で、目撃して歓声を上げたほどでした。次に日本三大名瀑の一

つと言われている袋田の滝、水量は少なかつたが幅の広い三段の滝はとも迫力があり壮大で身も心も洗われる思いがしました。とても自然豊かな光景を心に治め楽しい研修旅行でした。参考までに他の二つの名瀑をご存じですか？一つは日光の華厳の滝、もう一つは和歌山県熊野那智にある那智の滝なそうです。

### 「三春秋まつり」に参加!

(街並部会長)

佐久間保一

去る十一月一日・二日、第十一回「三春秋まつり」が開催され三春まちづくり協会では、街並部会が参加し、町内の石柱の紹介・写真・位置図・石柱の説明文のパネル展示を行いました。「石柱拓本ラリー」も同時に開催し六十三名の方がエントリーされました。



### 生涯学習部会

耐震化工事後の三春小学校と「まほらっこ教室」の見学について

### (生涯学習部会長)

千葉 喜好

過日、生涯学習部会会員五名が、三春小学校と「まほらっこ教室」を見学して参りました。これは、東日本大震災による破損のため、約一年間に亘り耐震化工事を行っており、改装後の校舎を見学するのが目的でした。



耐震化後の室内

教室については今までオープンスペースであったものを廊下と教室すべて仕切りを入れ、エアコンも完備し、フロアはバリアフリーに改装されました。また、照明も全教室すべてLEDの明るい環境に変わりました。引越して来て子供たちが一番喜んでくれたのがトイレ等の水回りとの説明がありました。トイレは明るい色彩で綺麗な洋式に変わりました。「まほらっこ教室」では、ボランティア活動指導員の方が放課後、子供たちに勉強や遊びを通じていろいろな事を教えていました。この様な良い環境での授業はきつと、子供たちも運動と学びにより一層励めると感じた次第です。

### 福祉部会

#### 「認知症サポーター養成講座」開講

(福祉部会長)

山本 健

福祉部会では、十一月五日保健センターに於いて認知症キヤラバンメイトの橋本和子氏を講師にお招きし「認知症サポーター養成講座」を開講しました。初めにDVDの上映がありその後講師の橋本氏より

「認知症の7つの法則」として、性格、環境等に依り、様々な症状がある、その為どのように接したら良いか、いくつかの具体例を挙げ丁寧な説明に頂きました。少しでも認知症の手助けに成る様、思いやりを持つて接する事の大切さを感じました。今回は、福祉部会だけでなく協会の皆様にも多く参加頂き、全員認知症サポーターの目印である、オレンジ色のリストバンドを頂き終了、大変有意義な講習会になりました。サポーターが一人でも多く増え、更に安心して暮らせる町にしたいものです。



### 散策路ウォーク

地域部会長 村田 紀佳

今回の「散策路ウォーク」は、龍隠院・愛宕散策路と桜谷散策路の2コースを歩きその散策路沿いの神社仏閣、文化財等を、三春観光ボランティアさんの協力を得て勉強しようと言う事で計画しました。当日は、観光ボランティアから三人、まちづくり協会から十七人の参加者で行いました。まほらを出発して最初に立ち寄った龍隠院は出城を兼ねて造られたそうで、一朝有事の際には藩士が立て籠って戦いやすくなっている。その為か、山門は騎馬が通れるように軒が高く造られている。本堂には出入り口が三か所あり右側は庫裏につながり住職、中央は一般の人、左側は殿様専用となっており中央の出入り口は立派な造りで一般の人がここを使っていた事が驚きであった。



龍隠院には八代藩主諡李公が葬られている。ちなみに一代から四代までは高野山に葬られているそうです。龍隠院から散策路に入り紅葉し始めた木立の中を歩き高乾院に向かった。高乾院も龍隠院と同じで三春藩主秋田家の菩提寺で五代～七代、九代～十代までが葬られている。墓所は木漏れ日が差し込む静けさの中に威厳があり、苔むした石碑が並び時間が止まったようであった。高乾院から愛宕神社に向かうと町指定天然記念物のケヤキ、イヌシデが愛宕神社を守っている。本殿は戦後三春小学校の奉安殿が移築されたそうで小生が小学生の頃は奉安殿の後に、小さい御宮があった。

次に福聚寺の田村公三代の墓所に寄った。墓所は本堂左側を登り見晴らしの良い高い場所に義頭、隆頭、清頭三人の石碑がある。清頭の娘、愛姫(めごかつたから愛ごい姫)は十一歳の時米沢城主伊達輝宗の嫡子で十三歳の正宗と輿入れした。愛姫と正宗の結婚は政略結婚であったかもしれない。最後に田村公墓所脇を登り桜谷散策路を回り歴史民俗資料館に下り「散策路ウォーク」を終えた。三春は多くの文化財、歴史が有ることを改めて知ることが出来た。今回の「散策路ウォーク」に同行し三春の神社仏閣等を説明して頂いた観光ボランティアの皆さん有難うございました。

### 編集後記

現在私たちは、時間に縛られることの少ない日々を過ごしていますが、落ち着いた時間のなか、ふと自分をじつと見直すことがあります。▼一般的には年を重ねるたびに気持ちが穏やかになっていくといいますが、まだまだ誰にも負けたくない!ある強い気持ち、今多くのシニア層の方々が、今多くの思いを持っていてと思います。それは「まだまだ思いやられん」という、強い思い。▼それは仕事やスポーツ、趣味などの場面で男性は「弱い姿は見せたくない」また、女性は「いつまでも美しくいたい」など様々。そのような考えで私達も。▼私達はどんな時でも一人ではないのですから、原色」のままでいられませんか?でもありのままの自分だけに隠さず、知っておきたいと思えます。そして少しは飾って自分自身に「頭張っている」と声をかけてあげれば心の隅々までスッキリと見通せるように思えます。自分自身を素直にじつと見つめて自分の「心」に声援を送りましょう。▼無理に自分をい人だと思えるめなくともよい。逆に本当は自分だなんて心配しなくていい。どちらも愛しい自分なんだと思えます。三春わが街」をさらに充実したものにしよう努力を重んみたい。(小松興男)

コミュニティだより

「三春わが街」第七十四号

発行日 平成二十七年一月一日

発行 三春まちづくり協会

編集 三春まちづくり協会

広報 報部会

〒974-0001 三春本町五丁目

(六二)三三八八